

# 北山田小学校外部評価書

学校名	横浜市立北山田小学校
外部評価委員 (7名)	男全由治委員・磯田真美委員・松村真吾委員・織茂直次委員・織茂力雄委員 ・男全恵己委員・押山永吉委員
外部評価実施日	平成20年3月24日

	項目	自己評価に対する意見
1	普段から、よりよい授業のために職員は努力している。	子どもたちの地域での活動の様子をみると、個別の指導がきめ細かくなされていると感じる。職員方が教育目標達成に向け、わかりやすい理解しやすい授業実践を意図的計画的に行っているように思われる。
2	児童の実態を捉え、正しく評価し、学力の定着をはかっている。	子どもの実態を捉えて確実に努力されている。学力の定着をはかるため、学年研究会、重点研究会等で話し合いを密に、共通の児童理解の上で実践されているように思われる。職員方が、現状に満足していない姿勢が大切である。
3	心豊かな児童を育成するため、様々な取り組みをしている。	あいさつ運動は子どもたちに浸透し、日を追うごとに身につけていくようだった。全般的に、子どもたちの様子が落ち着いていてよい。道徳授業の公開や読み聞かせ、地域へのいろいろな参加など、日々改善しようとしてくれている。
4	規範意識を伸ばすための的確な指導をしている。	卒業式での態度はとても立派で、規範意識は徐々に育ってきていると思う。道徳は口でいうほど簡単でなく、身近な資料、教師の説話を通し、児童の内面より実践化につなげていくことが大切になってこようかと思う。
5	職員が協力し、組織的に安全管理をしている。	子どもたちの安全確保について、職員方が常に意識し、気を遣っていることが分かる。学校内の安全、学校外の安全は本当に大変だと思うが、一つのミスも許されない。訓練を通し、身につけたことを大事にして、日常的にいざという時に行動できる態勢でいてほしい。
6	より現実的な対応が取れるように訓練等を実施している。	いろいろな事例に合わせて、実効性の高い訓練をしていることは大変有意義だと思う。防犯に関する訓練の充実をはかっていることは、評価できる。

7	職員が協力し、組織的に保健管理をしている。	石けんの整備、残留塩素の管理等、環境衛生への心くばりが随所に感じられる。早急さが求められる食中毒の対応についても、日頃からの共通理解を大切にしている様子が充分感じられる。組織化を進めるうえで、様々なマニュアル作成にも取り組んでほしい。
8	組織的、計画的に特別支援教育を行っている。	特別支援教育自体が難しいと思うが、支援体制が充分できる環境づくりに取り組むがまず大切だと思う。地域交流は進められているが、特別支援教育はシステム化されていないように感じる。
9	授業改善のために、意欲的に研究を進めている。	子どもたちが授業をわかる、理解できるようにするためには、普段から研修・研究することが求められる。教員の皆さんは、常にこの子は理解できているかなど一喜一憂していることと思うが、授業改善への努力している様子は感じらる。子どもの実態を捉えて、確実に努力している姿はよいと思う。
10	地域・保護者の理解が進むように積極的に努力している。	学校・家庭・地域の連携が大変重視されている今日、学校がかなり開放されたので、身近かに子どもたちを見ることができた。今後とも地域・保護者への働きかけを充分していければよいと思う。地域・学校への協力という点では、まだまだ人ごとの保護者が多いが、以前より地域とのかかわりが深くなった。
11	小・中の交流を積極的に進めている。	自己評価は妥当だと思う。今年度は、中学校吹奏楽の出演があったが、もっとふれあい祭りにボランティアに来てもらったらよいのではと思う。効果を上げるためには、小中の教育内容を充分理解し、実践していくことが求められる。